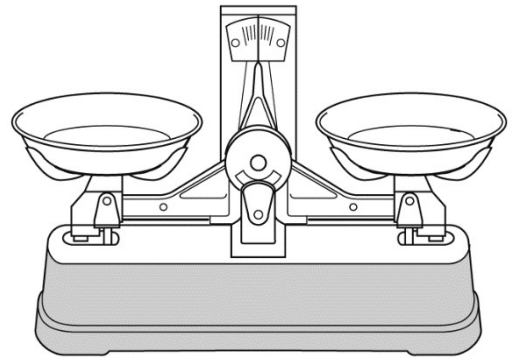


第1分野 1-3 上皿てんびんの使い方

1 右の図のような上皿てんびんを使うと、①必要な質量の薬品をはかりとったり、②質量の分からない物質の質量をはかったりすることができる。これについて、以下の問いに答えなさい。ただし、上皿てんびんを使う人は右ききであるとする。



(1) 次の文は、上皿てんびんを使う前の準備について説明したものである。()にあてはまる語句を答えなさい。

上皿てんびんは、安定した(①)な台の上に置く。指針が左右に等しく振れるように、皿の下などにある(②)で調節する。また、分銅を動かすための(③)を用意しておく。

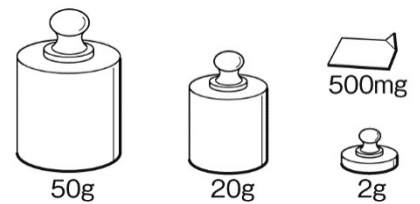
(2) 下線部①について、次の文はある質量の食塩をはかりとるときの手順を示している。文中の()から、あてはまる語句を選びなさい。

最初に、はかりとりたい質量の分銅を①(左 ・ 右)の皿にのせておく。反対側の皿には、薬さじで静かに食塩をのせていく。薬包紙は②(食塩の皿だけ ・ 両方の皿)にのせる。指針が③(左右に等しく振れれば ・ 0を指して止まれば)、目的の質量がはかりとれている。

(3) 下線部②について、次の文は質量の分からない物体Aの質量のはかり方を示している。文中の()から、あてはまる語句を選びなさい。

物体Aをあらかじめ皿の上ののせておき、反対側の皿に分銅をのせていく。このとき、分銅をのせるのは①(左 ・ 右)の皿である。分銅にはいくつか種類があり、1gは②(10 ・ 100 ・ 1000)mgである。分銅は③(軽い方 ・ 重い方)から順にのせていく。

(4) (3)の操作で上皿てんびんが釣り合ったとき、皿には右の図の分銅がすべてのっていた。このとき、物体Aの質量は何gであるか、答えなさい。



(1)	①	②
	②	
(2)	①	②
	③	
(3)	①	②
	③	
(4)		